

予防接種

予防接種の種類

《 定期接種 》

- ・ 接種が義務付けられており、接種費用は公費負担。
- ・ 三種混合（ジフテリア・百日咳・破傷風）、BCG、ポリオ、麻疹、風疹、日本脳炎

《 任意接種 》

- ・ 接種は希望者が各自医療機関で受け、接種費用は全額自己負担。
- ・ インフルエンザ、肺炎球菌、水痘、おたふくかぜ（流行性耳下腺炎）、B型肝炎、A型肝炎、狂犬病など

予防接種の間隔・ワクチンの種類

《 生ワクチン 》…BCG、ポリオ、麻疹、風疹、水痘、おたふくかぜ

- ・ 27日以上あけて次の予防接種可能
- ・ ウイルスの干渉を防止するため、あるいは副反応が起こるかもしれない時期をはずすため

《 不活化ワクチン 》…百日咳、日本脳炎、インフルエンザ、肺炎球菌、B型肝炎、A型肝炎

《 トキソイド 》…ジフテリア、破傷風

- ・ 6日以上あけて次の予防接種可能
- ・ 一週間経てばワクチンによる反応がほぼなくなるため

予防接種スケジュール

ワクチン名	〔満年齢〕																												
	9ヶ月	1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月	4ヶ月	5ヶ月	6ヶ月	7ヶ月	8ヶ月	9ヶ月	10ヶ月	11ヶ月	1歳	1歳1ヶ月	1歳2ヶ月	1歳3ヶ月	1歳4ヶ月	1歳5ヶ月	1歳6ヶ月	1歳7ヶ月	1歳8ヶ月	1歳9ヶ月	1歳10ヶ月	1歳11ヶ月	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳
定期接種			①	②	③																								
【不活化ワクチン】DPT(三種混合)																													
【生ワクチン】BCG			①																										
【生ワクチン】ポリオ							①																						
【生ワクチン】MR(麻疹・風疹混合)																													
【不活化ワクチン】日本脳炎																													
任意接種																													
【不活化ワクチン】ヒブ																													
【不活化ワクチン】インフルエンザ																													
【生ワクチン】水痘																													
【生ワクチン】おたふくかぜ																													
【不活化ワクチン】B型肝炎																													

定期接種の対象年齢 任意接種の出来る年齢 ◀▶ おすすめの接種期間(数字は接種回数)



予防接種

～こんな時はどうしたらいいの？～

- 麻疹・風疹・水痘・おたふくかぜなどにかかった場合
…治癒後4週間経ってから接種可能。
- ウイルス性疾患（突発性発疹、手足口病、伝染性紅斑など）にかかった場合
…治癒後1～2週間経ってから接種可能。
- ガンマグロブリン大量療法を受けた場合（主に、川崎病や血小板減少性紫斑症など）
- 長期または大量ステロイド療法を受けた場合（主に、ネフローゼ症候群・糸球体腎炎など）
- 熱性けいれんを起こした場合
…医師と要相談し、接種スケジュールを立てていきましょう。
- アレルギー体質の場合
…軽いアトピー性皮膚炎や状態の安定している喘息の場合は、ほとんどのケースは接種可能。
…卵アレルギーのある子は、予防接種の前に医師に相談しておきましょう。
- 未熟児（早産・低出生体重児など）の場合
…スケジュール通り接種可能。小さく生まれた赤ちゃんこそ病気を予防したいため、医師によく相談してスケジュールを立てて下さい。
- スケジュール通り三種混合の接種ができていない場合
…不活化ワクチンのため、間隔があいてしまっても回数を接種することが大切です。医師とよく相談してスケジュールを立てましょう。
- 接種したところが腫れたり、しこりができてしまった場合
…三種混合などは接種後腫れたり、しこりができることも多いです。ほとんどの場合、自宅で様子観察しても大丈夫です。しかし、日にちが経ってもなかなか腫れがひかない時には、かかりつけの医師に相談してみましょう。

※いずれの場合も医師とよく相談し、計画的に予防接種のスケジュールを立てていきましょう！！

